

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
栃木県地域セミナー 報告書

日時	2019（令和1）年7月11日（木）9：30～12：30
会場	栃木県庁北別館402会議室
参加者	39名 （栃木県教育委員会事務局3名、市町教育委員会4名、教育事務所1名、推進校担当者29名、日本財団パラリンピックサポートセンター1名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>9：30 開会挨拶 栃木県教育委員会事務局義務教育課 主幹 大高栄男</p> <p>9：35 説明：「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について 日本体育大学 特別研究員 秋和真澄</p> <p>9：50 説明：「栃木県オリンピック・パラリンピック推進事業」について 栃木県教育委員会事務局義務教育課 副主幹 吉川真弓</p> <p>10：00 実践発表 ・那須塩原市 那須塩原市教育委員会学校教育課 副主幹 大島礼子 ・栃木市 栃木市教育委員会学校教育課 副主幹 手塚浩史</p> <p>10：30 休憩</p> <p>10：40 講話：「パラリンピック教育を通じて伝えられること」 日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部 後藤陸</p> <p>11：40 協議</p> <p>12：25 事務連絡</p> <p>12：30 閉会</p>
内容	<p>はじめに、本学より事業概要の説明を行ない、新しい取組として実践を行なうよりも、既存の教育および取組を活用し、推進校担当者が負担を感じることなくオリンピック・パラリンピック教育を実践していただくよう伝えた。続いて、栃木県教育委員会事務局より栃木県の実施方針について説明があり、年間のスケジュール等を伝えた。実践発表では、昨年度再委託先である2市教育委員会より昨年度の取組を紹介した。</p> <p>講話では、日本財団パラリンピックサポートセンターより「I'mPOSSIBLE」を活用したパラリンピック教育およびパラリンピック教育がもたらす教育効果について説明があった。</p> <p>協議では、①各校の事業計画の共有、②学校全体の取組とするために教科間の連携や学校行事との関係を踏まえた実践の考案、③取組を実施していく上での問題点等の共有および課題解決の方策、という3点をテーマに実施した。前半の説明や講話を参考に計画を立てる学校、同グループの他校の実践を参考に計画を立てる学校があり、有意義なセミナーとなった。</p>



会場の様子



協議の様子